

# 1. 水草の大量繁茂の状況

## 資料1-2

第3回首長会議資料  
滋賀県

南湖の水草現存量の変化図(琵琶湖博物館提供)

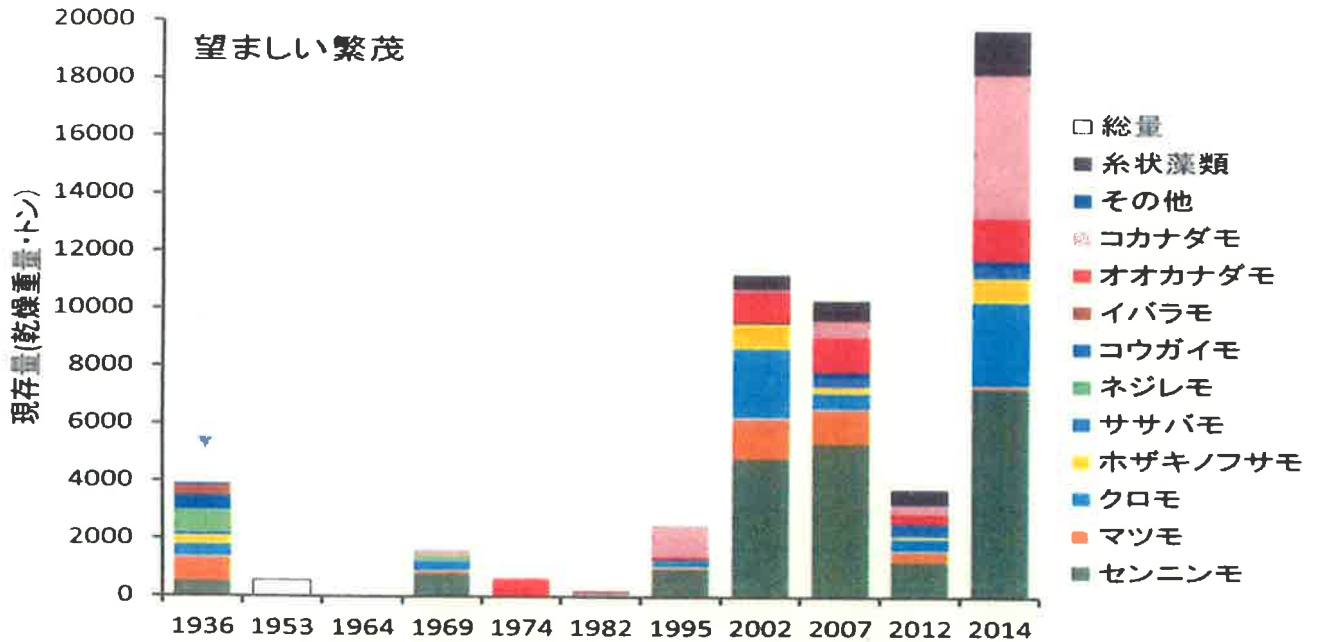
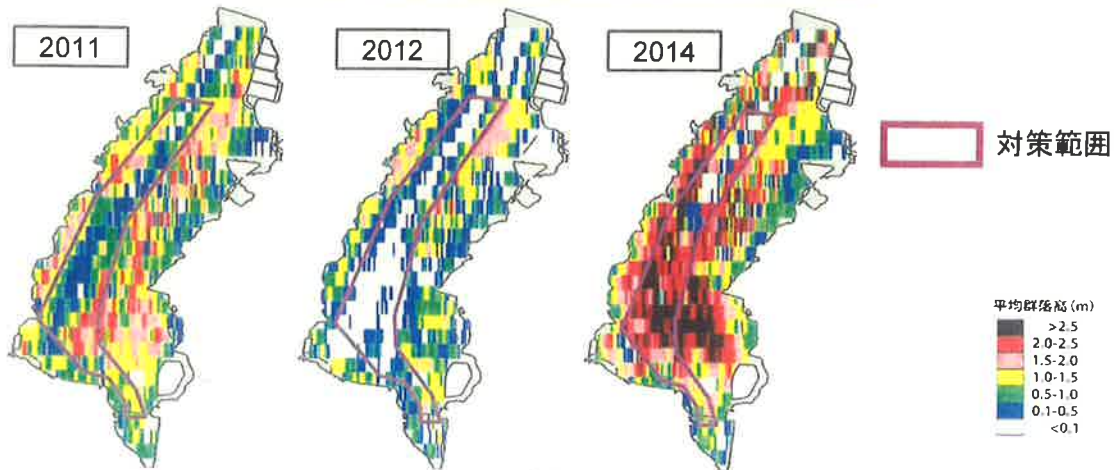


図-1 南湖の水草現存量の変化図(琵琶湖博物館提供)



琵琶湖大橋付近南湖



# 水草刈取から有効利用へ

表層刈取り



根こそぎ刈取り



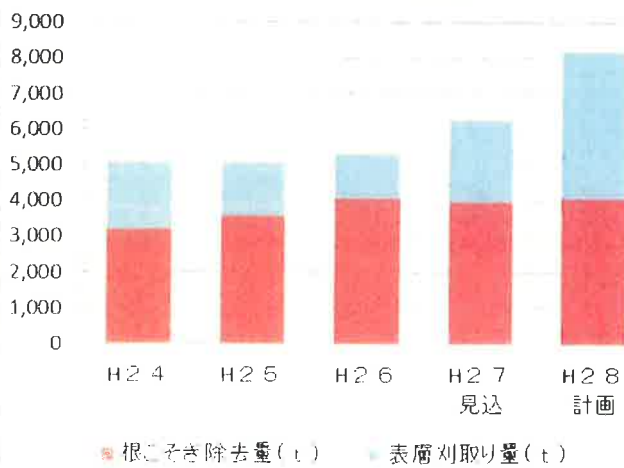
揚陸(北山田漁港等)し、堆肥化(近江八幡市津田町)



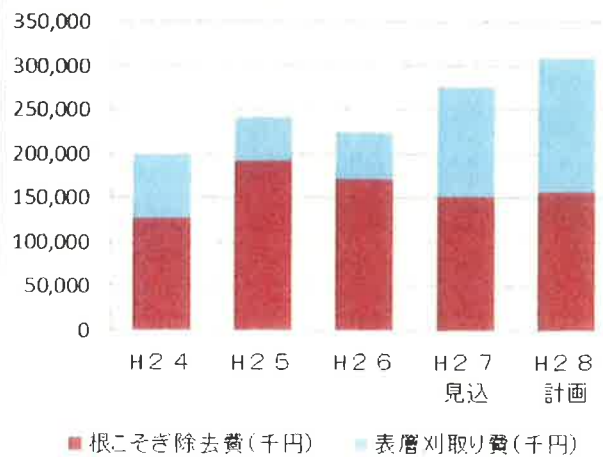
県民への無償配布



## 水草刈取除去量



## 水草刈取除去事業費



## 2. 外来動植物による被害の状況

### 侵略的外来水生植物(オオバナミズキンバイ)の状況



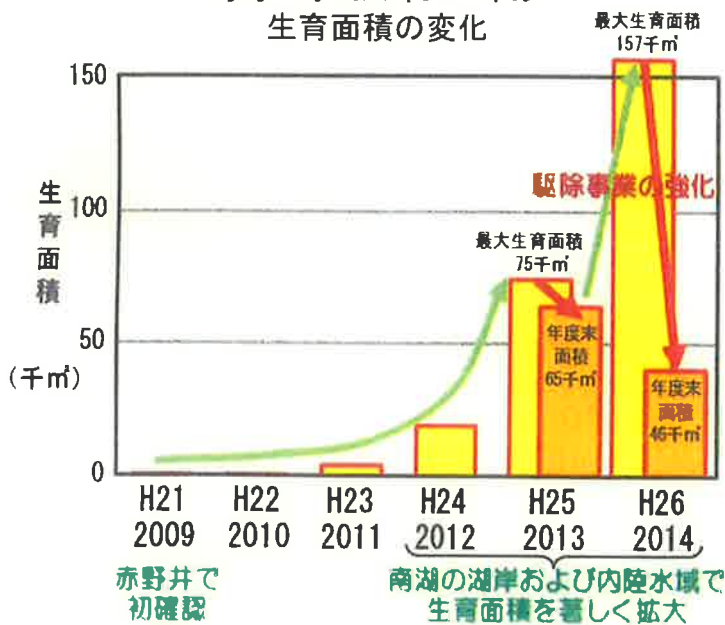
#### オオバナミズキンバイ

- ・中南米原産の外来抽水植物。
- ・琵琶湖では、平成21年(2009年)に南湖で初確認。
- ・平成26年「特定外来生物」に指定。

琵琶湖周辺では、同じく特定外来生物に指定されているナガエツルノゲイトウも、侵略的外来水生植物として防除の対象となっている。

#### ■ 生育面積と分布状況

オオバナミズキンバイの  
生育面積の変化

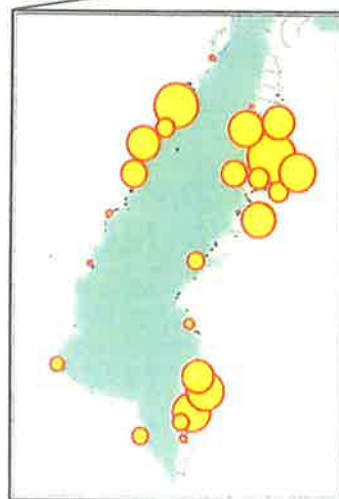


オオバナミズキンバイ等の分布状況



北湖周辺におけるオオバナミズキンバイ(★)とナガエツルノゲイトウ(▽)の分布拡大の状況。大きな記号が新たに確認された地点。(H27/8現在)

オオバナミズキンバイの南湖での分布状況 (H26/12調査結果)



# 急拡大するオオバナミズキンバイへの対策

## ■ 駆除後の再生例

平成26年度の機械駆除によって、沿岸のチクゴスズメノヒエ群落の間際まで駆除したが、群落内に残存した植物体からの再生が起こったものと推測される。(草津市矢橋町中間水路)



駆除前の生育状況(H26/10)



機械駆除直後(H27/4)



再生状況(H27/10)

平成27年3月に機械駆除を実施した後、同年夏に群落が急速に再生した地域(丸印は同じヨシの株)。

## ■ 取組状況

### ● 連携体制の構築

関係自治体、環境保全団体、漁業協同組合等で構成される琵琶湖外来水生植物対策協議会を平成26年3月20日に設置。



建設機械+クマデ



刈取り船+ジェットポンプ

【機械による駆除方法の開発】

### ● 駆除方法の開発および駆除の実施

建設機械と大型クマデを使った方法、水草刈り取り船と水中ジェットポンプを併用する方法を採用し、効果的かつ効率的な大規模駆除を実施。



【NPO、漁協、学生ボランティア団体による駆除】

### ● ボランティアによる駆除

環境保全団体、漁業協同組合、学生ボランティア団体が自主的な駆除活動を実施。

### ● 国直轄事業<近畿地方環境事務所>

特定外来生物防除等推進事業により実施。



刈取り船  
(ハイドロモグ)  
【国直轄事業】

## 外来魚(オオクチバス、ブルーギル)の状況

### ◆国庫補助事業

- 刺し網等による外来魚捕獲に対する経費補助(380円/kg)
- オオクチバス稚魚のたも網による捕獲
- 漁業者が捕獲した外来魚の回収と有効利用



### ◆国庫委託事業

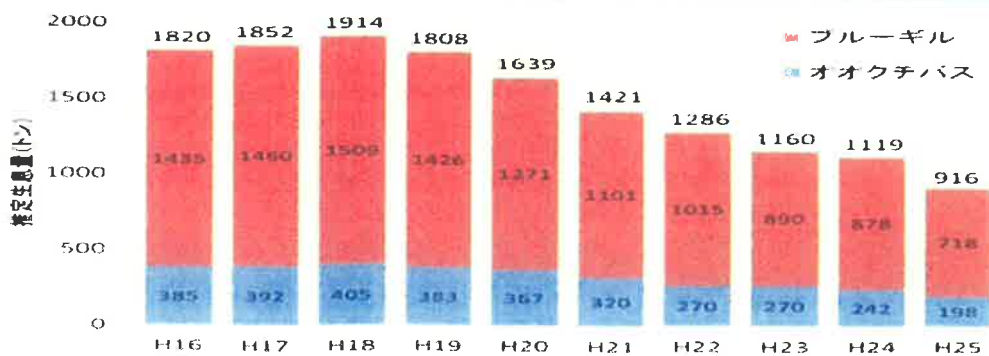
- オオクチバス抑制管理技術開発研究(水産試験場受託研究)  
「リバウンド現象」の原因の解明、未成魚に特化した駆除技術の開発

### ◆滋賀県単独事業

- 産卵場<sup>いしゅう</sup>に蝸集するオオクチバス親魚を、2隻の電気ショッカーボートを利用し集中的に駆除
- 新たな外来魚の拡散防止および効率的駆除技術開発研究  
今後生息域を拡大し、被害が心配されるチャネルキャットフィッシュ、コクチバスの生息状況の把握と効率的な駆除技術の開発
- 「琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例」により、釣り上げた外来魚のリリースを禁止し、回収ボックス等を設置して回収



### ◆外来魚推定生息量



### 3. 琵琶湖への漂着ごみの状況

#### 湖岸に漂着した流竹木等漂着ごみの状況

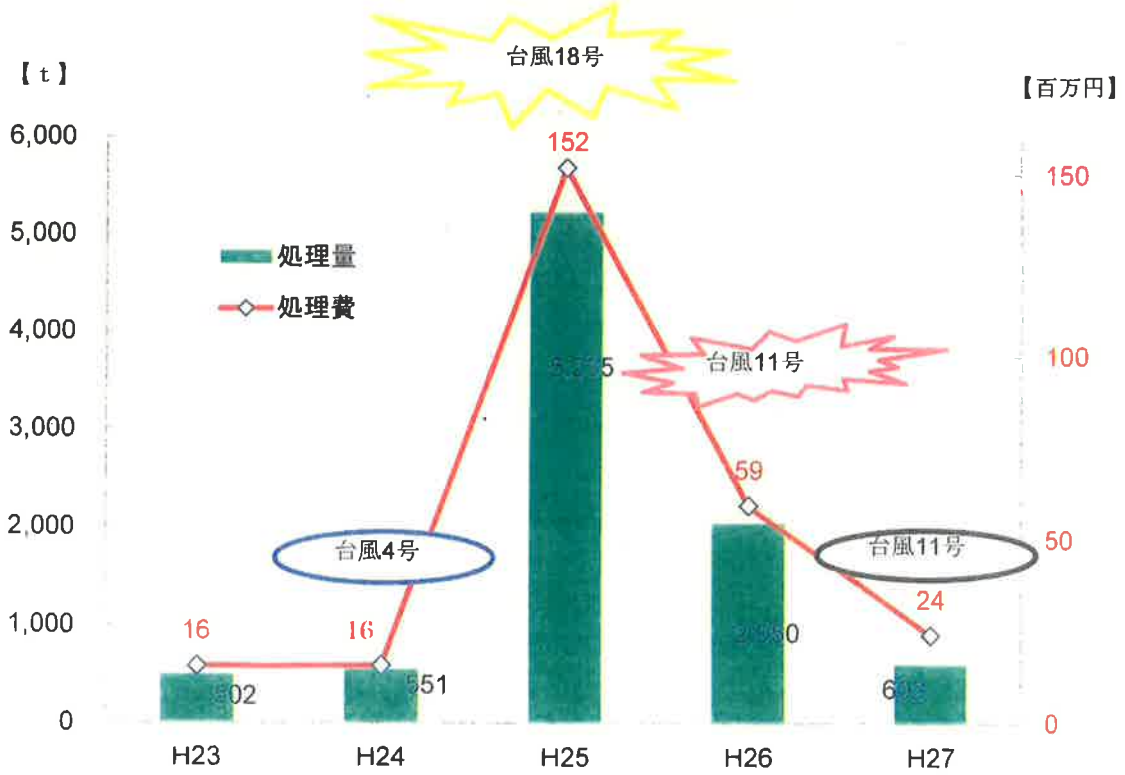


近年、毎年  
台風が襲来

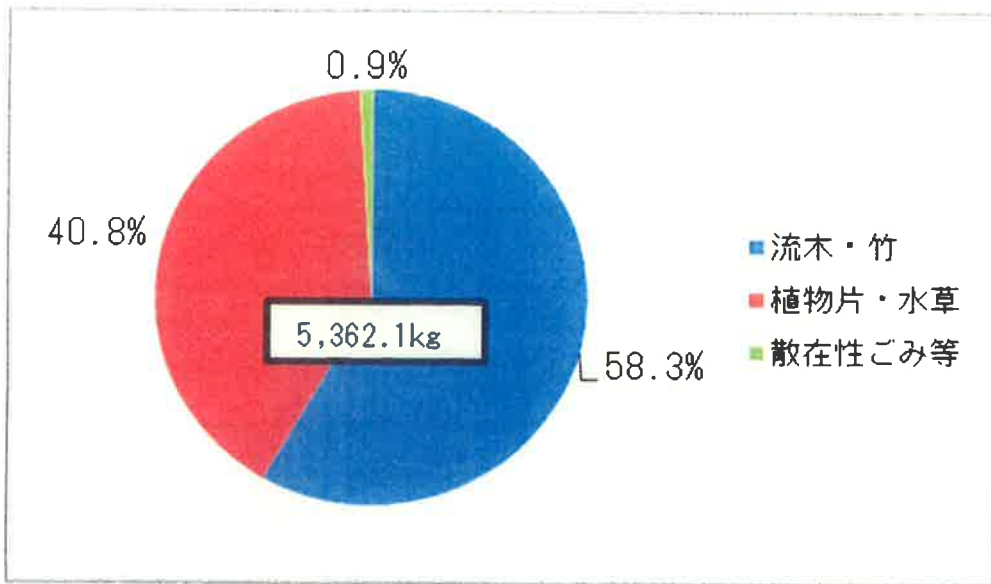


平成25年 台風18号襲来後の  
漂着ゴミ (流竹木等) の状況

#### 漂着ゴミの処理量および処理費

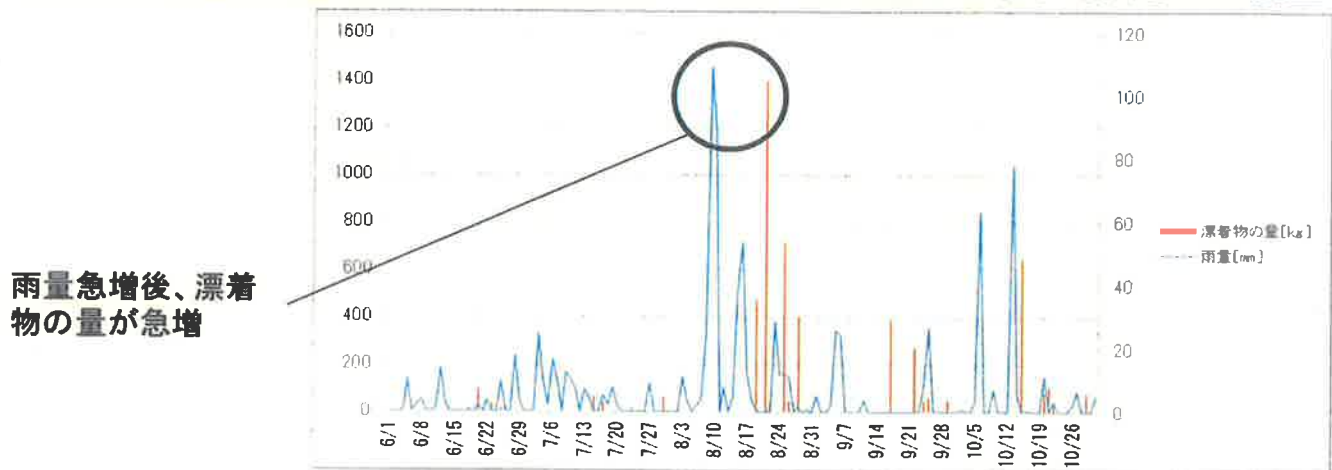


○漂着物の量と種類(H26年6月～10月琵琶湖岸漂着物等実態把握調査)

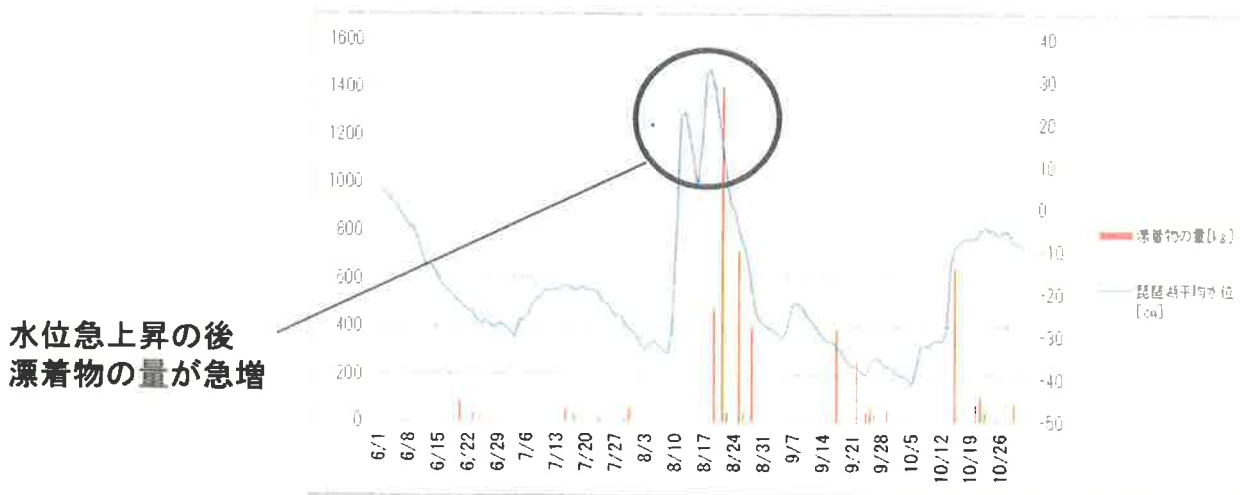


・流木・竹の重量が全体の約6割を占める。  
調査6地点(大津・野洲・近江八幡・彦根・長浜・高島)計1,950㎡の6月～10月の合計

○漂着物の量と雨量の関係図(H26年6月～10月 琵琶湖岸漂着物等実態把握調査)

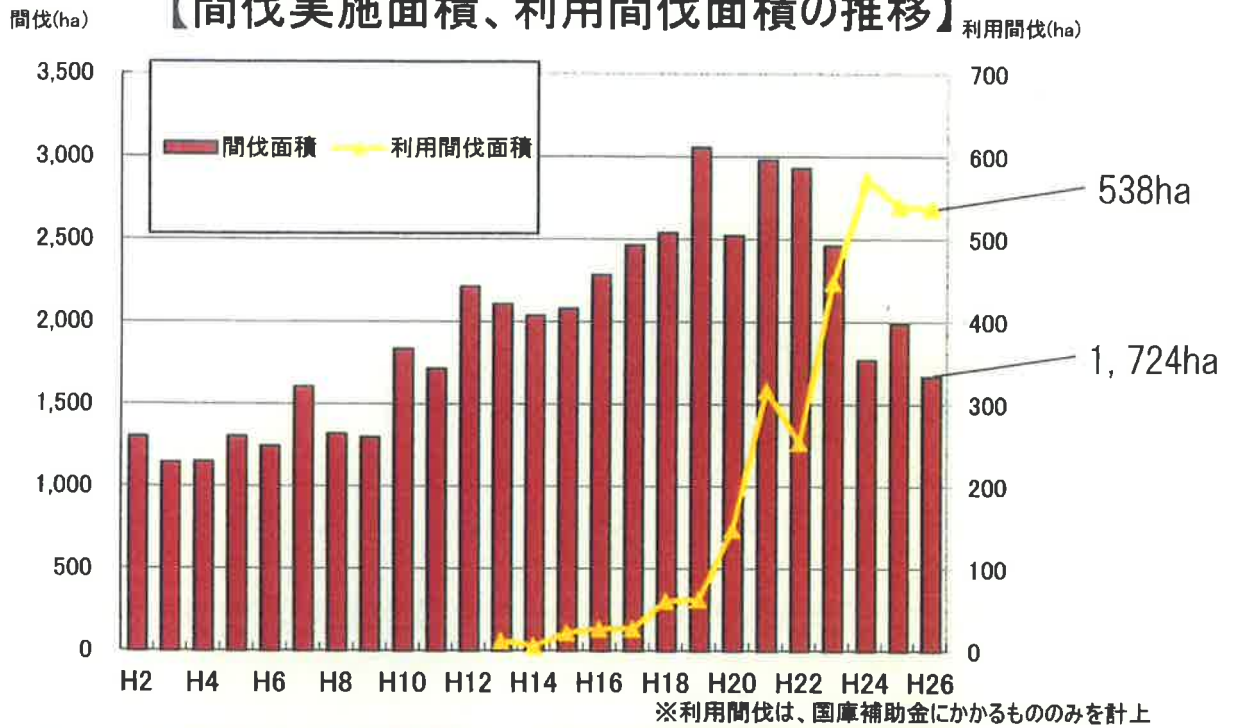


○漂着物の量と琵琶湖の水位の関係図(H26年6月～10月 琵琶湖岸漂着物等実態把握調査)



# 間伐の状況

## 【間伐実施面積、利用間伐面積の推移】



間伐を実施した森林  
(下層植生が豊か)



間伐を実施していない森林  
(下層植生の消失・表土の流出)

## 【木材生産量の推移】

